



夾竹桃：院内

### 着任のごあいさつ

令和7年4月より愛媛医療センターの看護部長を拝命いたしました田村陽子と申します。出身は高知県です。愛媛・岡山・香川・広島の転勤を経て12年ぶりに愛媛の地に帰ってきました。高知出身というと必ず「お酒は強いのですか?」と聞かれますので「はい、好きです」とお答えしています。ですが若いころに比べるとずいぶん弱くなり記憶をなくす回数が多くなってきましたので注意していきたいと思います。

さて、愛媛医療センターと私とのご縁は、国立療養所東高知病院でスタッフとして勤務していた際、当院へ5日間の研修に来させていただいたことがあります。重症心身障害病棟での研修でした。その際は、愛媛病院(当時の名称)のスタッフの皆様とともに入浴介助や療育、食事介助などさせていただきました。当時、私も東高知病院で重症心身障害児の病棟で勤務していましたが、愛媛病院と

の差に衝撃を受けたことを今でも覚えています。その当時、愛媛病院ではポジショニングチェアーを使用し、なるべく患者さんを臥位のままではなく坐位で過ごせるよう取り組んでいました。患者さんの立場になり、いつも天井や床ばかりの景色ではなく、人の動き、窓から見える景色を楽しむよう工夫していたことを思い出します。

この度、愛媛医療センターで看護部長として勤務することになり、改めて看護師として患者さんの目線に立った看護の提供、現状維持ではなく新しいことへの挑戦、変化を恐れない看護部を目指して看護職員一丸となって邁進していきたいと思っています。



看護部長 田村 陽子

# 院長マニフェスト

令和7年4月より病院長を拝命している  
船田淳一です。

私が思い描いている愛媛医療センターの  
将来像について述べさせていただきます。

## ①外来・管理棟の改修および新築

外来・管理棟の老朽化への対策を第一に  
考えています。当院は救急車の搬送・受け  
入れ件数は年々増加しています。一方で、  
外来棟から本館（病棟）の長い動線が医療施設としての機能低下や職員の負担に  
なっています。今後も安定して地域医療に貢献していけるようによりコンパクトな  
病院への改修を目指します。



## ②地域行政・医師会との結びつきの強化

昨今の厳しい医療情勢や建築費の高騰を考えると、当院改築の実現には地域行政  
や医師会との連携が必須と考えています。愛媛医療センターの当地域における  
役割を明確にすることが重要と考えています。

## ③積極的な医療DX(デジタルトランスフォーメーション)の活用

国立病院機構本部の方針として令和8年度に全職員への業務用スマートフォンの  
配布が決定しました。第2期電子カルテへの移行も決まっており、日常業務だけ  
でなく病院運営に関してもデジタル化・効率化されることを期待しています。

## ④地域医療への貢献

これまで通り愛媛大学医学部附属病院や四国がんセンターなど高度先進医療を  
提供する大型病院との機能分担を図ります。また、近隣医療機関との連携を維持  
し、東温市・松山東部地区におけるハブ病院としての役割を担います。老人保健  
施設との連携も重視し地域住民の健康を支えていく医療機関を目指します。

## ⑤政策医療の継続・維持

国立病院機構が担っているセーフティーネット医療（重症心身障害・神経難病・  
結核）に関して質の高い医療の提供を心がけます。

## ⑥臨床研究や治験の推進

国立病院機構病院の役割である、臨床研究や治験を介した医療の進歩に積極的に  
貢献します。

## ⑦働きやすい職場づくり

職員間の横の繋がりを重視し、明るく働きやすい職場づくりを心がけます。病院  
内における良好な人間関係の構築が安定した医療の提供に繋がると考えています。

上記目標を達成するために、職員個々の頑張り地域の皆様のご支援が必要と  
思っています。何卒よろしくお願い申し上げます。

循環器内科医長  
吉井 豊史

令和7年4月に新たに愛媛医療センター循環器内科に赴任した吉井豊史と申します。平成10年3月に愛媛大学医学部を卒業し、第二内科（現在の愛媛大学循環器・呼吸器・腎高血圧講座）に入局しました。入局後は愛媛大学医学部附属病院の研修医からスタートし、以後、松山赤十字病院で研修し、西条中央病院内科、公立周桑病院循環器科で勤務しました。

平成14年4月から平成18年3月まで愛媛大学医学部大学院（循環器グループ）に入学しマウスを用いた動脈硬化の基礎研究をしていました。大学院を卒業後は喜多医師会病院に長らく勤務し一時、市立八幡浜総合病院に転勤となり、再度、喜多医師会病院に戻りました。その後も貞本病院、県立

新居浜病院、済生会松山病院と多くの病院で勤務する経験をしました。それぞれの病院での勤務経験が愛媛医療センターでの診療に役立つと考えております。

現病院には外科に同期の先生が2人在籍しており、また本年4月より内科にも同期の先生が1人赴任したため困ったことがあれば相談しやすい環境です。私の専門は循環器内科で、狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患、不整脈、心臓弁膜症など、またそれらによる心不全に対して診断、治療を行っています。

東温市での勤務は平成18年以来ですが、東温・松山東部地区の循環器疾患の患者さんに対して微力ながらお役に立てればと存じます。宜しくお願い申し上げます。



内科医長  
永井 彩子

令和7年4月より愛媛医療センター内科に赴任しました、永井彩子です。船田病院長、久保副病院長をはじめ病院のいろいろなスタッフの方、そして愛媛大学医学部の同期生3人にも親切にいろいろと教えていただき、感謝申し上げます。まだ新しい環境や仕事に慣れておらず、いろいろとご迷惑をおかけするかと思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

愛媛医療センターは広大な敷地に緑が豊かですが、私は園芸が趣味で、敷地内の植物に季節を感じ、癒されています。最近の発見としては、外来棟から病棟への廊下の窓際にバラを発見しました。園芸好きでも品種名には詳しくないのですが、いろいろな種類が結構きれいに咲いており、執筆時

まばらながらも見頃を迎えています。私は自宅に庭がなく、バラといえばミニバラの鉢植えしか育てたことはありませんが、手入れによってはミニとは思えない大きな花をつけてくれます。バラのお手入れはこまめにいろいろやることもあり大変だと聞いたことがあります。当院のバラたちは地植えの大株のようなので、きっと環境が合っているのでしょう。詳しい方がいらっしゃいましたら是非教えてください。

精神科医で禅僧の方が書かれた「心と身体の正しい休め方」という本を読んだところ、「自然の中にある音や風を感じる」という休息法が紹介されていました。当院の自然に癒されながら頑張りたいと思います。



にゅう

ふえいす

どくたゝズ

その②

呼吸器内科医長  
山本 哲也

この春から呼吸器内科で診療を担当しております山本哲也と申します。医師としてのキャリアは14年目になりますが、このたびご縁があり、3年ぶりにこの病院に戻ってまいりました。実はここは私の生まれ育った地元でもあり、なじみのある風景や、あたたかく迎えてくださる皆さまのおかげで、どこか「帰ってきたなあ」と感じながら、日々診療にあたっています。

これまで大学病院をはじめとする医療機関で、肺炎、喘息、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、間質性肺疾患など、さまざまな呼吸器の病気の診療をしてきました。息苦しさや咳といった呼吸器症状は、患者さんの生活の質を大きく左右することが多く、不安を感じながら受診される方も少なくあり

ません。そのため、診察では病気の説明をできるだけわかりやすく丁寧に行い、少しでも安心していただけるよう心がけています。

ありがたいことに、患者さんからは「人当たりがいい」「話しやすい先生」と言っていただくことも多く、それが何よりの励みです。診療の場では、病気のことだけでなく、日々のちょっとした体調の変化や不安なことも、気軽に相談していただける雰囲気大切にしています。

これからも、地域の皆さまが健やかに、そして少しでも楽に呼吸ができる毎日を過ごせるよう、誠実に、丁寧に診療を行ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



循環器内科医長  
宮崎 慈大

はじめまして。4月より赴任いたしました宮崎慈大（しげひろ）と申します。愛媛県西条市出身で、医師13年目を迎えた37歳です。昨年度まで愛媛大学医学部附属病院に勤務しておりましたが、大学院卒業を機に当院でお世話になることとなりました。循環器領域での専門は特にありませんので、幅広く対応していきたいと考えております。ただ、大学では心不全治療学講座に所属しておりましたので、特に心不全領域ではお役に立てるかと思っております。

さて、そんな私ですが、医師6年目の頃、妻の国内留学に便乗する形で別府市の病院に勤務する機会を得ました。実はこの別府滞在中、（仕事以上？に）力を注いでいたのが「別府八湯温泉道」です。これは、約150ある温泉道参加施設のうち、入湯数に応じ

て段位が授与され、88湯制覇で「温泉道名人」の称号が得られるという制度です。朝早起きしてお風呂に入り、仕事が終わればまたお風呂へ…と、温泉道の“修行”を続けておりました。その道中、別府唯一の「泉聖」（88湯めぐりを88巡達成して得られる称号）にも偶然お会いするという、忘れがたい出会いもありました。1年間の挑戦の末、「温泉道九段」（72湯以上）まで到達しましたが、志半ばで愛媛に戻ることとなりました。

そういった経緯もあり、循環器疾患はもちろん、別府の温泉事情についても多少は精通しておりますので、ご興味ありましたらどうぞお気軽にお声かけください。

（※情報は6、7年前のものです…）



放射線科医長

森川 友郎

皆さま、はじめまして。このたびご縁をいただき、放射線科医として勤務することになりました森川友郎と申します。医師になって9年目を迎え、これまで大学病院や地域の中核病院で、放射線診断業務に携わってまいりました。

放射線科医は、レントゲン写真、CT、MRIなどの医療画像を読影し、病気の早期発見や診断に貢献することを主な役割としています。なかでも私は心臓CTを専門にしており、心臓や血管の疾患を的確に診断するため、多くの症例に携わり、日々研鑽を重ねてまいりました。検査画像を通じて患者さんの体の中を詳しく診ることができる放射線科の仕事に大きなやりがいを感じており、今後も

より質の高い医療を提供できるよう努めてまいります。

出身は愛媛であり、これまで親しんできた地域で再び医療に携わることができることをとても嬉しく思っています。土地のあたたかさや自然の豊かさを改めて感じながら、地域に根差した医療を提供していきたいと考えています。

趣味はゴルフと、二人の子どもと遊ぶことです。休みの日にはゴルフでリフレッシュしたり、子どもたちと公園や自然の中で一緒に過ごしたりする時間を大切にしています。今後も家庭と仕事の両立を大切にしながら、地域医療に貢献できるよう精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



## 地域の輪

繋がる地域医療連携



よろしくお願いします

4月より地域医療連携係長に就任いたしました。看護師長 亀岡福江です。昨年まで病棟看護師長として、入院中の患者さんのご相談を受け意思決定支援のお手伝いを行ってまいりました。

今年度からは地域医療連携係長として、病棟経験を活かし地域の医療機関や介護・福祉関係との橋渡し役となり、患者さんがスムーズに適切な医療を受けられるよう支援してまいります。退院後も住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう、生活支援やかかりつけ医の紹介を円滑に行い、安心して療養生活を送ることができる環境を整えられるよう努めてまいります。入院や退院、在宅療養に関して何かご不明な点がございましたら、お気軽にご相談ください。

さらに、地域の医療機関の皆様とは、地域密着型の医療サービス強化のため、情報交換や連絡調

整を通じ、病診連携・病病連携を推進してまいりたいと考えております。その一つとして東温・松山地域医療連携の会の運営を通じ、医療機関間の情報共有や連携強化を図ってまいりたいと思います。そして、医療従事者向け研修会も開催に向け準備中です。研修を通じ地域医療の質向上と連携強化、また情報交換等の場となるよう運営してまいります。不慣れな点もあるかと思いますが、ご指導いただくと幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



地域医療連携係長 亀岡 福江

# 日本心臓リハビリテーション学会 第8回四国支部地方会 開催

本年3月15日(土)～16日(日)の両日、日本心臓リハビリテーション学会第8回四国支部地方会を松山市総合コミュニティセンターで開催させて頂きました。心臓病の悪化のため入院が必要となった患者さんや心血管病の手術を受けられた患者さんの社会および日常生活へ復帰するためのプログラムとして、心臓リハビリテーションの役割を重要視してきました。一般にリハビリテーションといえば理学療法士による運動療法を思い浮かべる方が多いと思いますが、ご高齢の患者さんや重症心臓病の患者さんの社会復帰には、看護師・栄養士・薬剤師・医療ソーシャルワーカーも含めた他職種介入(包括的心臓リハビリテーション)が必要となります。高齢化を迎える現代において医療現場だけでなく社会における心臓リハビリテーションの重要性が高くなっています。

学会準備は大変でしたが、学会本部から後藤葉一元理事長や高橋哲也現副理事長を始め四国内外より指導的立場の先生方に参加頂きました。多くの医療スタッフに注目して頂くために漫画家(平尾リョウ氏)に依頼し愛媛県の明るいイメージの学会ポスター(写真1)をデザインして頂きました。お陰様で180余名の現地参加があり盛会にて終了することができました(写真2:当院スタッフとともに)。

初日のプログラム終了後は関係医療スタッフの情報交換を目的として松山市内のホテルで懇親会(写真3:医師 兼 社会人落語家の芸乃虎や志氏)を開かせて頂きました。



写真1

私は長らく心臓リハビリテーション領域の県内責任者を務めてきましたが、今年度より病院長就任が予定されていたため、今回の地方会開催が臨床医としての一区切りと捉えており感慨深い2日間となりました。

最後に当院の矢野理学療法士・間藤看護師の演題が当四国支部地方会において(最)優秀演題賞を3年連続で受賞したことを報告させて頂くとともに、日頃の臨床業務を検討・分析し医療に還元する姿勢を誇らしく思っています。当院心臓リハビリテーションチームのさらなる発展と地域医療への貢献を祈念しています。

院長 船田 淳一



写真2



写真3

# 医療安全管理 だより

こんなことしています

4月1日より医療安全管理係長を命じられました新田早織です。これまで、10年以上病棟看護師長として勤務しておりましたが、医療安全管理係長という大変責任の重い役割をいただきました。病棟看護師長とは違う視点で、愛媛医療センターにかかる全ての患者さんと家族、そして職員、病棟の医療安全活動をする事になりました。

今はまだ、各部署からのヒヤリハットレポート報告を見て、ラウンドをしています。看護師として知識はあっても未経験であったり、今まであまり関わる事のなかった部署の方とのお話や、環境を見ることができ、新しい発見の日々です。

ヒューマンエラーはゼロにはできませんが軽減することはできます。そのためには、ヒューマンエラーがなぜ起こるのかという発生メカニズムから、具体的にどのように起こったのかを明らかにする必要があります。職員の皆さんからのヒヤリ

## 交替しました

ハットレポートから、なぜその行動をとったのかについて考えることが重要です。まずは現実を見て、現場をよく見ることから始めていきたいと思っています。ラウンドの際には、ヒヤリハットが発生した状況について詳しくお伺いすることもあるかもしれませんが、これはヒヤリハットの発生要因を分析し、再発防止策を検討するための重要な手段です。ご協力をお願いいたします。

医療安全管理者として、目の前の事象に対して、一つずつ取り組んでまいります。難しいことも多いかと思いますが、皆様のご理解と、ご協力のもと乗り越えていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



医療安全管理係長 新田 早織

## ちよつと言い放し

愛媛医療センターニュース編集委員の持ち回りでお届けします。

二月初め、ちよつと大きめの病気をして入院をした。生死の境をさま迷う事態に陥り、入院期間は、実に一ヶ月半に及んだ。幸いなことに、後遺症も脳の障害もなく、五体満足で帰ってくる事ができた。

蘇生とその後治療に心血を注いでくださった、医療スタッフの方々に改めてお礼申し上げます。無事に退院した日。妻から聞いた「おかえりなさい」のひと言が、誰から聞いた「おかえり」よりも心に沁み

た。生きるか死ぬか分からない夫の帰りを、一人の家で待つ時間はどれほど心細かったことだろう。そう思うと、病に冒された自分が情けなく、一人にして不安がらせたことが申し訳なく、毎日病室を訪れ、笑顔を絶やさずいてくれたことが有り難く。

誰もが至るところで使う、ありふれた言葉ではあるが、私のためだけに掛けられた特別な、心からの「おかえりなさい」は、大切な宝物になった。私もまた、「ただいま」と心からの言葉を返した。

ところで、我が家には喰うことと甘えることに特化した愛犬がいるのだが、退院して直ぐに「ただいま」と声を掛けたのだが、当の本人は、「ああ、そういうばこんなやつも居っ

たな。暫く見んかったけど、どっか行っとったんかな？取り敢えず、おやつくれ」とでかい態度で迎えられた。

「とうちゃん。おかえり、おかえり、おかえり」言うて尻尾振るんが飼犬のあるべき姿と違うんかい？」と言って、わやくちゃんにモフリながら、「こいつは、相変わらずマイペースやなあ」と二人で笑った。

病氣、入院、長期の不在と、非日常が改めて気づかせてくれた夫婦の絆。あと何年一緒にいられるか分からない老夫婦だが、いつまでも仲睦まじく暮らしてゆきたいと願った日になった。

当たり前の日常が帰ってふた月あまり、虎舞竜の「ロード」の一説をかみしめる毎日を送っている。

「何でもないようなことが 幸せだったと思う 何でもない夜の事二度とは戻れない夜」



樹懶菴

# 外来診療担当医表

内科外来直通電話 TEL.089-990-1834

外科外来直通電話 TEL.089-990-1835

| 診療科       | 診察室 | 午前・午後 | 月   | 火  | 水          | 木  | 金      |
|-----------|-----|-------|-----|----|------------|----|--------|
| 循環器内科     | 6診  | 午前    | 船田  | 吉井 | 関谷         | 岩田 | 関谷     |
|           |     | 午後    |     |    | 船田         |    |        |
| 消化器内科     | 9診  | 午前    | 古田  | 廣岡 | 久保         |    | 久保     |
|           |     | 午後    |     |    |            |    |        |
|           | 12診 | 午前    |     |    |            | 奥平 |        |
|           |     | 午後    |     |    |            | 宮崎 |        |
| 糖尿病内科     | 11診 | 午前    |     |    | 村上         |    | 宮崎(第4) |
|           |     | 午後    |     |    |            |    |        |
| 呼吸器内科     | 10診 | 午前    | 阿部  | 伊東 | 佐藤         | 三好 | 伊東     |
|           |     | 午後    |     |    |            |    | 田邊     |
|           | 11診 | 午前    |     | 渡邊 |            | 仙波 |        |
|           |     | 午後    |     |    |            |    |        |
|           | 8診  | 午前    |     |    |            |    | 山本     |
|           |     | 午後    | 三好  |    |            |    |        |
| 脳神経内科     | 8診  | 午前    | 尾原  |    |            | 尾原 |        |
|           | 12診 | 午前    |     | 戸井 |            |    | 戸井     |
|           |     | 午後    | 大八木 |    |            |    |        |
| 整形外科      | 14診 | 午前    |     |    |            | 石川 |        |
|           | 15診 | 午前    | 宮本  |    | 石川         | 宮本 |        |
|           | 16診 | 午前    | 青木  | 玉井 | 青木         |    | 玉井     |
| 消化器外科     | 14診 | 午前    |     | 鈴木 | 森本         |    |        |
|           |     | 午後    |     |    |            |    | 石丸     |
| 呼吸器外科     | 14診 | 午前    |     |    |            |    | 湯汲     |
| 小児科(神経外来) | 14診 | 午後    | 菊池  |    | 桑原(第1・3・4) |    | 菊池     |
|           |     |       |     |    | 野間(第2)     |    |        |

| 専門外来(予約制)     |       | 月          | 火         | 水                 | 木          | 金               |
|---------------|-------|------------|-----------|-------------------|------------|-----------------|
| 心臓外科外来★院内紹介のみ | 16診   |            |           |                   |            | 泉谷              |
| 脳神経外科★院内紹介のみ  | 14診   |            | 松本・大塚(午後) |                   |            |                 |
| ペースメーカー外来     | 16診   |            |           |                   | 第2・4(午後)   |                 |
| フットケア外来       | 小児面談室 |            |           |                   | 第1・3・5     |                 |
| ペインクリニック      | 12診   |            |           | 山内(午前)            |            |                 |
| アスベスト外来       | 14診   |            | 午後        |                   | 午後         |                 |
| 息切れ外来         | 11診   | 渡邊(13:30~) |           |                   |            |                 |
| SAS外来         | 11診   |            |           |                   |            | 渡邊(14:00~16:00) |
| 頭痛外来          | 16診   |            |           |                   | 永井(第2・4午前) |                 |
| 神経難病          | 8診    |            |           | 橋本                |            |                 |
| 鼠径ヘルニア外来      | 14診   |            | 鈴木(午前)    |                   |            |                 |
| 気胸外来          | 14診   |            |           |                   |            | 湯汲(午前)          |
| NTM外来         | 8診    |            |           | 第2・4(13:30~15:30) |            |                 |

※外来受付は8:30から11:00までです。内科は13:00から16:00までです。

2025年7月1日現在

ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。

※SAS(睡眠時無呼吸症候群) NTM(抗酸菌症)

## 独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251  
ホームページアドレス <https://ehime.hosp.go.jp>

※弊紙の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解をいただいております。

※弊紙へのご意見ご要望ご感想は、当センター内病院新聞編集委員会(担当:小倉)までお寄せください。